

（主な意見・質問）

（問）今年の10月に小学校3校の統合準備委員会を設置すると説明があったが、1校あたりの委員は何名ぐらいになるのか。また、どのようなことを協議するのか。

（答）統合準備委員会の委員は、各学校の校長・教頭、PTA役員、公民館長さんに依頼する予定で、学校ごとに5人から6人ぐらいが委員になると思う。その下部組織の作業部会の委員は、各学校の校長・教頭とPTA役員である。協議内容については、新しい校名や場所、校歌、校章などを協議し、決定していくことになる。

（問）私は、学校ごとに違った校歌や校章ではなく、八幡浜市内の学校に1つあればいいと思っているが、小学校の校歌と校章については、既に原案があるのか。

（答）新設する中学校の校章については、全国公募し20作品の応募あり、その中から作業部会で3作品を選定した。その3作品を閉校する生徒にアンケート調査を行い、その結果を基に統合準備委員会で審議した結果、1位の作品を校章とすることが決定した。校歌については事務局案として、作詞を八幡浜市出身の宮本益光さん、作曲を八幡浜市出身の井上洋一さんに依頼することを統合準備委員会に提案し承認を得たので、二人に制作を依頼している。今回の（仮称）八幡浜南小学校については、どのように進めていくかは決まっていないが、例えば作詞は公募してもいいと思うので、作業部会等で協議していく予定である。

（問）統合した場合、スクールバスを利用すると思うが、通学ルートや乗降場所、時間帯について教えてほしい。また、双岩地区では、子育て支援課からの補助で児童クラブを運営しているが、統合後はどうなるのか。

（答）統合後のスクールバスについては、例えば中津川地区や谷地区に子どもがいる場合、タクシーの利用を考えている。釜倉地区から若山地区へのルートは、人数にもよるが、マイクロバスの利用を考えている。マイクロバスだと、車を回すスペースが必要となるので、例えば釜倉集会所をスタート地点にして、安全な場所で乗降できる場所を選定し、ルートを決めていきたいと考えている。時間帯については、まだ何も決まっていない。児童クラブについては、現在、双岩地区と川上地区の公民館が自主運営しているが、子育て支援課と協議しながら、統合後も継続できるよう補助していくことを考えている。

（意見）中学校のスクールバスの時間帯と小学生が登校する時間帯は同じぐらいで、しかも、その時間帯は交通量がとても多く、特に双岩地区公民館前の横断歩道は危険な場所である。時間帯を含めて、安全に登下校できるように配慮をお願いする。また、3年前から市の委託を受けて、児童クラブを運営しているが、利用料なしの午前中のみで対応している。普段の時であれば、12人から13人であるが、地域で1番心配するのは、長期休業の期間ではないかと思う。

（答）通学時間帯については、安全面を考慮し、今後検討する。

（意見）基本的には統合に反対という立場である。8月に3地区の地区協議会の設置を予定しているが、実際に公民館に地区協議会の対応をお願いされても、負担が大きすぎるし、地域から出さ

れた要望等を取りまとめるのは難しいと思う。また、10月に統合準備委員会を設置し、翌年の3月に統合合意書調印式を行う計画であるが、日程がタイトではないか。特に10月に入ると、みかんの収穫時期で出席できない委員もいるのではないかと思う。

また、双岩中学校を統合した後、市職員を含めて誰も旧双岩中学校に行かなかったため、気が付けば卒業樹が枯れていた。教育委員会に相談したが、地区で管理してほしいということで、結局、市は閉校した学校の管理を考えていなかった。現在は、市から委託を受けて年間8万円で管理しているが、特に双岩小学校の場合は、高台にあるため、人目も付きにくく、用事もなければ誰も立ち寄らないと思う。双岩小学校の統合後の管理がどうなるのか心配である。

(答) 閉校後の管理については、地域に管理を依頼する場合と、シルバー人材センターに委託する場合がある。また、統合後の跡地利用については、地域が無償で利用する場合と、有償で利用する場合とでは、国への補助金返還が必要になることもあるので、地域で要望を出していただき、市全体で判断していく必要がある。

(意見) 現在、双岩小学校ののり面の草刈りに係る経費は、双岩地区から出している。今は、子どもたちが双岩小学校に通っているから地区が支払っているが、統合後はどこが管理するのか協議する必要がある。また、6年前の西日本豪雨の時に双岩中学校の体育館を避難所に開設したと思うが、次に災害が起きた時には、体育館にも空調設備が必要になると思い、教育委員会に相談したことがある。教育委員会は、国の補助を受けて建物を設置しているので、現状を変えると国への補助金返還が必要になるとの説明があった。先ほど、地域から要望を出してほしいと言われたが、いろいろな理由により断るのであれば、前向きな話し合いにはならないと思う。

(答) 大きな災害が起きた時には、数日の避難であれば、体育館ではなく、学校のクーラーが設置されている教室を使うようにしている。長期になれば、学校を再開しないといけないので、教室から体育館に避難することになる。さらに半年、1年となれば、次の段階として、例えば、旧舌田小学校の簡易宿泊施設を使うなど、避難する期間に応じて対応が変わる。閉校後の跡地利用については、地域の核となる施設であるため、地域で要望を出していただき、市全体で協議する必要がある。なお、現在は、体育館に空調設備を設置しても、国から補助金返還を求められることはない。

(意見) 以前よりも先生の負担は軽減されていると思うが、例えば学校の先生が地域行事に参加する必要があった場合に、勤務している学校の行事ではなく、先生が住んでいる地域行事に参加できるように配慮してほしい。

(答) 例えば、自主防災活動などがある時には、勤務先の自主防災会に参加するのではなく、自分が住んでいる自主防災会に参加するべきだと思うので、その方向で検討していきたいと思う。

(意見) 私も3月の統合合意書調印式は時間的にかなりタイトだと思う。統合時期が決まっているのであれば仕方ないが、もう少し早く地域説明会を開催するなど、跡地利用を含めて、いろいろな要望等を聞く必要があったのではないかと思う。確かに、小規模校の厳しさはあるとは思いますが、少人数だから児童1人1人に先生の目が行き届き、それぞれの個性にあった教育ができるのではないかと思う。また、小学校と公民館の関係がとても良く、連携した活動ができていますので、子どもたちもいろいろな経験ができています。それが、1つの小学校に統合された時には、今までのようにはいかないと思う。例えば、3つの小学校が統合した場合、その校区内に公民館はいくつもあることになる

ので、双岩地区の子どもたちだけを対象に行事をするのが難しくなるのではないと思う。我々も工夫しなければならないが、1つの小学校区に1つの公民館という強い関係の中で、子どもたちが育っていくほうが良いと思う。双岩小は、上級生から下級生まで非常に仲が良く、自然に上級生が下級生の面倒を見ているので、小さな学校の良さも考えてほしい。それと、跡地利用については、予算との兼ね合いもあるので難しい面もあるが、本当に必要なものであれば、ある程度は市で予算を組んでほしい。

(答) 3 中学校の統合については10月に地域説明会を行った後、地区協議会を開催していない。小学校は、地区協議会の設置を予定しているので、地域ごとに要望も違ってくると思う。統合合意書調印式は、3月に予定しているが、必要に応じて地区協議会を開催し、地域の意見を大事にしながら協議していきたいと考えている。

二つ目の小規模校については、現在、小中学校に1人1台端末のタブレットを導入しているが、双岩小学校の複式学級の指導では、先生が直接指導をしていない時間帯はタブレットを活用して学習ができるように工夫している。ただ、1人1人の個性も大切にしながらも、複式を解消し、大きな集団での関わりの中で、小学校の時から培っていくことが大事ではないかと思っている。

三つ目の地域との連携については、17地区公民館ごとに小学校があることが理想だと思うが、統合により子どもたちが通う学校が変わっても、授業が終わると地元に戻ってくるので、その中で地域との関係を大事にしてほしいという思いがある。今まで培ってきたものを今度どう繋げていくかという難しさはあるかもしれないが、学校が閉校しても、その地域の子どもとの関わりを継続してほしいと思う。

四つ目の跡地利用については、今までに閉校した学校の跡地利用を見ると、旧舌田小学校の簡易宿泊施設マンダリンや旧磯崎小学校の歯ブラシ工場などがある。地域の要望を聞きながら進めていきたいと考えている。